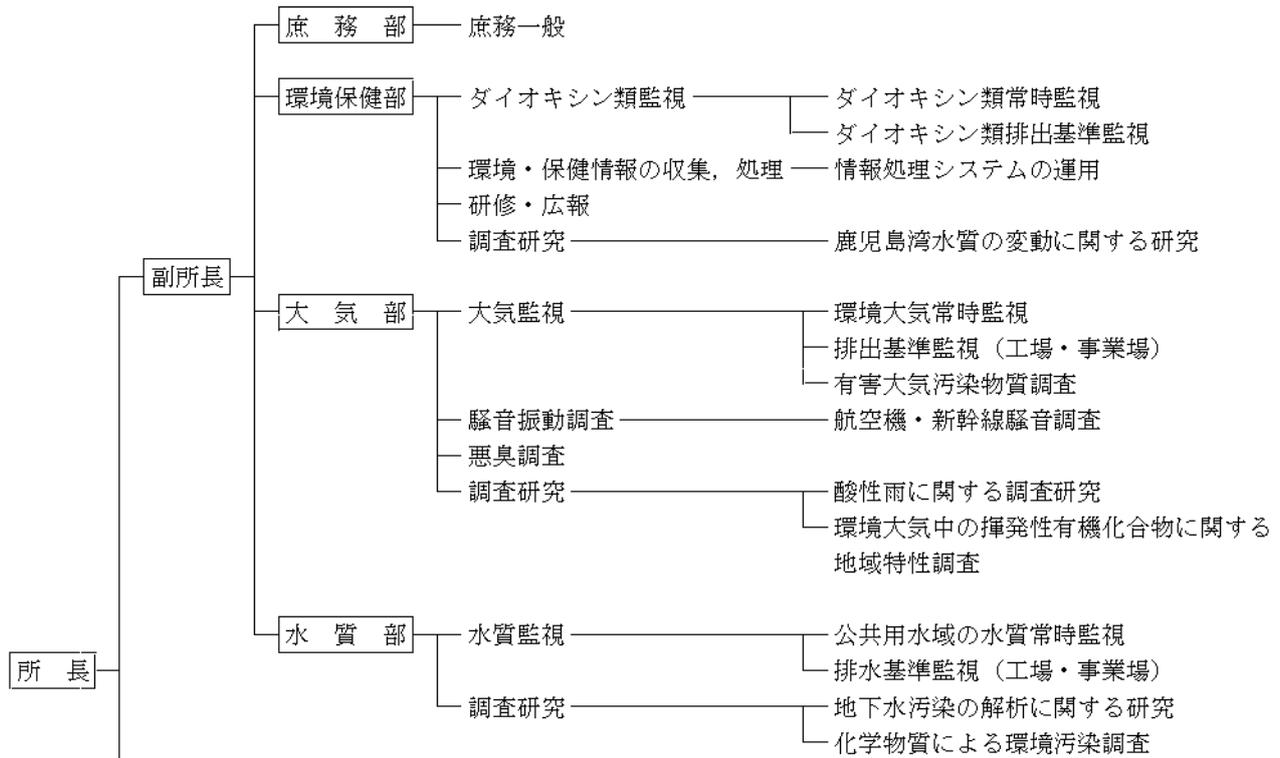


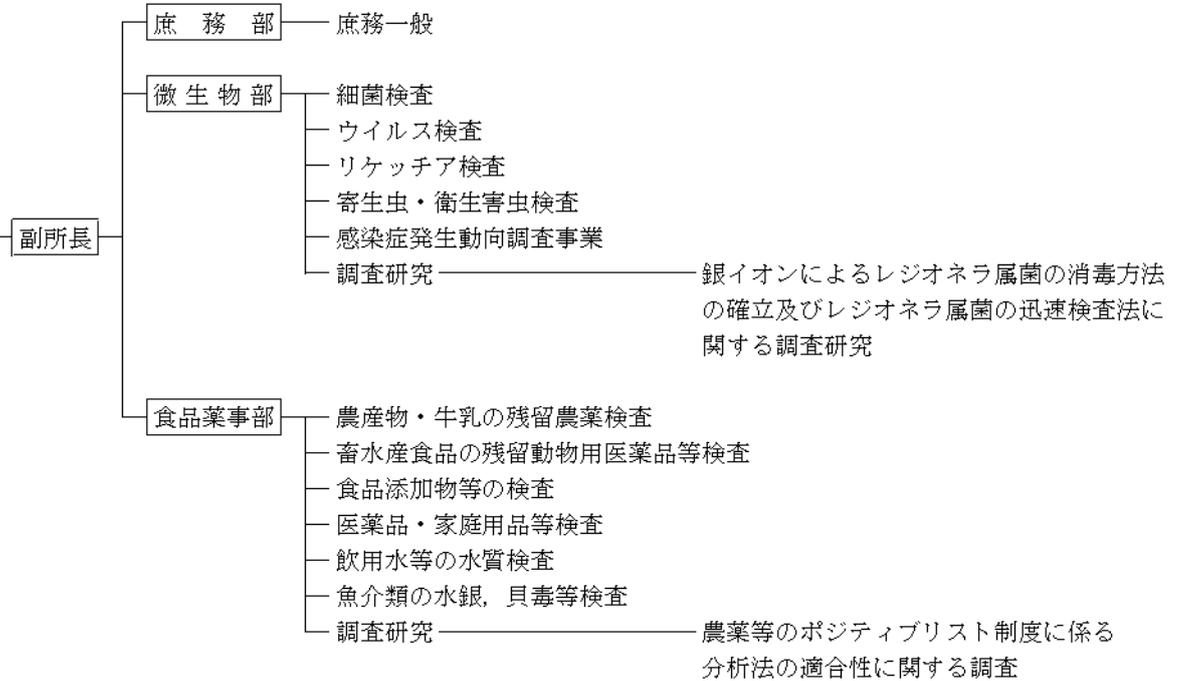
11 その他

11- (1) 環境保健センター組織

【城南庁舎】



【城山庁舎】



11－(2) 調査・試験研究の概要

環境保健行政の円滑な推進を支援する目的で、国及び他自治体の研究機関とも連携して調査研究に取り組んでいます。これらの結果は、所報にまとめるほか、学会での発表等も行っています。

① 鹿児島湾水質の変動に関する研究（環境保健部）

近年上昇傾向にある鹿児島湾の COD について、その原因究明をするための調査研究を行っています。

② 酸性雨に関する研究（大気部）

本県における酸性雨の実態を把握するため、降水成分調査を行うとともに、発生のメカニズムなどについて調査研究を行っています。

③ 環境大気中の揮発性有機化合物に関する地域特性調査（大気部）

トリクロロエチレン、ベンゼンなどの揮発性有機化合物の地域特性を明らかにするため、環境大気中の揮発性有機化合物濃度と P R T R 法に基づく集計データとの関連性の調査を行っています。

④ 地下水汚染の解析に関する研究（水質部）

地下水汚染が認められる地域の地下水のイオン成分等の測定・解析を行い、土地利用や事業場の立地状況、地下水流動などと重ね合わせることで、地下水汚染の原因を推定する研究を行っています。

⑤ 化学物質による環境汚染に関する研究（水質部）

有害化学物質による環境汚染を未然に防止するためには、過去使用されたものも含めた化学物質の環境残留性の実態把握が必要であることから、水質・底質・生物のモニタリングや暴露量等の調査を行っています。

⑥ 銀イオンによるレジオネラ属菌の消毒方法の確立及びレジオネラ属菌の迅速検査法確立に関する調査研究（微生物部）

銀イオン（銀担持ゼオライト）による温泉浴槽中のレジオネラ属菌消毒方法及びレジオネラ属菌の迅速検査法の確立に関する調査研究を行っています。

⑦ 農業等のポジティブリスト制度に係る分析法の適合性に関する調査（食品薬事部）

ポジティブリスト制度の円滑な施行に伴い国の示す一斉分析法で行政検査を実施するにあたり、個々の食品に対する分析対象農薬の分析精度を個別に調査し試験法の適合性を確認することにより、検査の信頼性を確保するための調査研究を行っています。